

令和 6 年 6 月 9 日現在

機関番号：34311

研究種目：新学術領域研究（研究領域提案型）

研究期間：2019～2023

課題番号：19H05735

研究課題名（和文）民族誌調査に基づくニッチ構築メカニズムの解明

研究課題名（英文）Sociocultural mechanisms underlying niche construction based on ethnographic research

研究代表者

大西 秀之（Onishi, Hideyuki）

同志社女子大学・現代社会学部・教授

研究者番号：60414033

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 58,630,000円

研究成果の概要（和文）：本研究では、民族誌調査に基づき「出ユーラシア」によって直面した新たな環境に対する、生理的・生物学的側面から文化的・社会的側面までの適応を追究した。具体的には、南北アメリカ大陸や太平洋島嶼部に進出し適応しえた認知・行動能力の解明に加え、近代化やグローバル化に起因する認知・行動様式の変容などを追究した。この結果、文明形成に関係する考古学的資料・データや当該地域における遺伝形質の形成プロセスを読み解くための視角やモデルを隣接研究分野に提示することができた。他方で、国際シンポジウムなどを開催し、調査研究成果の社会還元や国際発信に努めた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究計画班の成果としては、まず従来個別に行われていた人文社会学と自然科学のアプローチを民族誌フィールドにおいて統合し、人間の認知・行動能力の獲得や変容の究明を試みた。またこれに加え、民族誌調査・研究では長らく等閑視されていた、人類史や文明形成という課題を改めて追究する意義と可能性を提示した。これらの成果を踏まえ、学術的な価値にとどまらず、環境変動や技術的特異点などの諸問題に直面するなかで、産業革命以降の西欧近代文明に立脚する人類社会のあり方を再考した。

研究成果の概要（英文）： This study examined adaptabilities of modern humans from bio-physiological to socio-cultural phases for new environments confronted in America and Oceania, as a result of the “Out of Eurasia”. Particularly it elucidated abilities of cognition and behaviors for adapting and expanding to the American continent and Pacific islands. It additionally investigated cognition and behavioral changes caused by modernisation and globalisation. Through these findings, it advanced perspectives and models to interpret formation processes of archaeological materials and genetic traits to other disciplines. Furthermore, international workshops and symposiums were held to present findings of this study worldwide.

研究分野：人類学

キーワード：認知・行動様式 身体 生存戦略 景観 環世界

様式 C - 19、F - 19 - 1 (共通)

1. 研究開始当初の背景

(1) 文化/社会人類学をはじめとする民族誌研究では、「出ユーラシアの統合的人類学」の領域全体が目的とする、現生人類の多様な認知や行動が形成された背景や要因、さらには歴史過程などを究明しようとする志向は非常に限定的かつ低調であった。とりわけ、同分野では、過去に批判し棄却してきた社会進化論や文化伝播論などとの関係から、非西欧近代における複合社会や国家の形成などはまだしも、文明の様態や形成などを論じることに消極的であった。

(2) 他方で、同分野では、心理学や認知科学などに少なからず関心が示され、それら異分野の成果を積極的かつ批判的に取り込んだ認知・行動研究が推進され提起されてきたものの、その目的は基本的に自らの領域内の課題解決に留まっていた感は否めなかった。このため、同分野の認知・行動研究は、参照ないし批判した異分野に対しての発信や共同・連携は必ずしも活発ではなく、さらには文明形成に至る人類史の追究などに貢献させようとするアプローチなどは極めて稀有であった。

2. 研究の目的

(1) 本研究では、「出ユーラシア」後の新天地である南北アメリカ大陸と南太平洋(オセアニア)地域及び、通過経路にあたる北東アジア高緯度(寒冷)地域と東南アジア沿岸・島嶼部における先住民社会を主要な対象として民族誌調査を行い、現生人類が獲得した認知・行動能力の多様性の究明を目的とした。

(2) 具体的には、まず「身体」と「景観」に焦点を当て、当該地域に適応するため各集団が保持している生存戦略を、身体生理基盤から知識/技術体系さらには超自然的世界観までを射程に入れ追究した。その上で、本研究では、生存戦略に関連して創出された道具・構造物や環境改変などの人工空間から、信仰体系やコスモロジーなどの象徴世界までを、個人から集団に至る人間の身体が構築する自然/文化景観が混淆した「環世界」と位置づけ、その中で生まれ獲得された固有の認知・行動様式を追究した。

3. 研究の方法

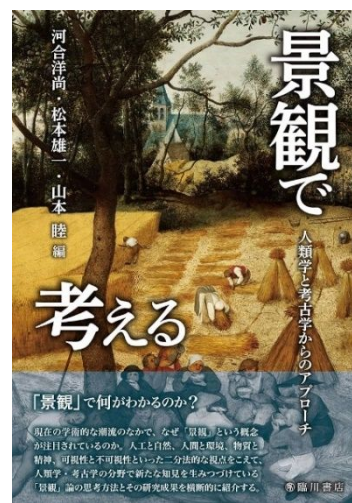
(1) 本研究では、各メンバーがそれぞれのテーマ、方法、ディシプリンに基づき、担当する調査地において民族誌調査を実施し、当該地域に暮らす人々の認知や行動に関する基礎データを収集した。また現地調査では、当事者の発話のみならず、文化的実践を構成する身体の生理的側面や景観の物理的側面などの記述と理解を重視した。

(2) 他方で、本研究では、各地域やテーマなどに個別分断された調査研究に陥る危険を避けるため、各メンバーは自らの専門性や役割に囚われず、当該地域に適応するため当該集団が保持している生存戦略を主要な対象として基礎データを収集した。またその上で、身体生理基盤から知識/技術体系さらには超自然的世界観までを射程に入れ、それに関係する身体活動や発話行為及び、物理的側面から象徴的側面までの景観を記録し把握に努めた。このような研究を通して、出ユーラシアにより多様な自然環境に進出・適応を果たすとともに、文明形成の基盤となった現生人類のニッチ構築の能力を追究した。

4. 研究成果

(1) 本研究では、人文社会学から自然科学までの調査研究を民族誌フィールドで推進し、文明創出のためのニッチ構築能力を明らかにすることを目的として、「科学研究の「実践の場」における民族誌研究」、「身体を対象とした自然科学的研究」、「人類史的な時間軸での民族誌研究」という共通のテーマを設定し調査研究を推進した。以下では、これら三つのテーマごとに特に領域全体に貢献し、学術的・国際的・社会的にインパクトとなりうる成果を提示する。

(2) 「科学研究の「実践の場」における民族誌研究」は、当初A01~A03 班のメンバーが行うアンデス地域での考古学調査に参加する計画を立てていたが、コロナ禍によって最終年度である2024 年まで実施できなくなった。しかし、実践の場での調査研究は十分にできなかったものの、全体会議や領域横断型の「景観ユニット」などに参加し、考古学を中心とする領域研究に参画する他分野と積極的に議論を交わすことによって、科学研究に内包されている「自文化」ないしは「西洋近代」中心主義的な視点に対する批判的検討を行った。この結果、考古学を中心とする領域研究に参画する他分野と交わした議論を基に、『景観で考える：人類学と考古学からのアプローチ』(図書)を出版した。



本書は、本研究計画班から編者1名、執筆者4名が参加し、A01～A03班などの考古学者との共著となり、B01班にとどまらない領域全体に貢献する成果出版になった。また本書は、これまで英語でしか刊行されていなかった、文化/社会人類学と考古学の共同・連携による景観研究(引用文献)を、日本語で刊行した初めての学術論集となった。

(3)「身体を対象とした自然科学的研究」では、まず「食と栄養ユニット」を組織し複数回の研究会を開催するとともに全体会議でもセッションを企画した。このユニットでは、本計画研究班のメンバーと公募研究代表者が中心となり、ゲストスピーカーを招いて民族誌フィールドにおける調査法やデータ収集法など議論するとともに、研究分野を超えた連携や統合を追究した(報告)とりわけ、同ユニットでは、近代化や開発などによって食文化をはじめとするライフスタイルが変化した結果、肥満や疾病など身体に引き起こされる変容に着目し、文明化が身体に及ぼす影響を明らかにした。その成果は、同ユニットを主宰した木村友美をはじめ各メンバーの個人業績に加え、B01班内外の文化/社会人類学など異分野との学際研究として刊行された(雑誌論文 図書)なお民族誌フィールドにおける人文社会学系と自然科学系の異分野連携・共同は、途上国支援の現場などでも要望されている応用実践であり、また海外の学術雑誌に掲載されていることから、国際的・社会的にも意義を有する成果となった。

(4)また「身体を対象とした自然科学的研究」では、最終年度の2024年に「ニッチ構築検討会」を企画し開催した。同検討会では、人類生態学や生態人類学さらには先史考古学の視点からニッチ構築論を再検討するとともに、本領域のキーコンセプトである「三元ニッチモデル」を批判検証した。この検討会の成果は、同検討会を主宰した梅崎昌裕や須田一弘をはじめ各メンバーの業績に一部反映されている(図書)なお最終年度の2023年度以降も、学術論文や成果出版などの刊行を計画している。

(5)「人類史的な時間軸での民族誌研究」では、まず第3回全体会議において「第一部：人類集団の移動」というセッションを企画した。その結果、新大陸への移動や南太平洋への拡散を遺伝情報や考古資料など多角的に検討を行った。またこの成果を基に、2022年10月に公募研究「アメリカ大陸極北圏での人類の認知技能の発達に関する民族認知考古学的研究」(代表：大村敬一)と共催で、「International Symposium of “Out of Eurasia” Project Human Dispersal from north Eurasia via Beringia into North America」を企画し開催した。同シンポでは、北米やデンマークなどから招聘した6名を含む国内外の研究者11名が一同に会して、ユーラシア大陸からアメリカ大陸への人類集団の移動を議論し情報・意見交換を行った。こうした企画は、学界から一般社会に渡る国際的な関心を引くものであるため、岡山大学・文明動態学研究所の公式YouTubeチャンネルで、当日の会議動画を日英二言語で配信した(ホームページ)これにより、学術的貢献は言うまでもなく、「出ユーラシア」の領域全体にとって重要な国際発信となった。なお同シンポの成果は、『Human Dispersals from North Asia via Beringia into North America』として出版され、海外の研究機関から出版された貴重な国際共著となった。



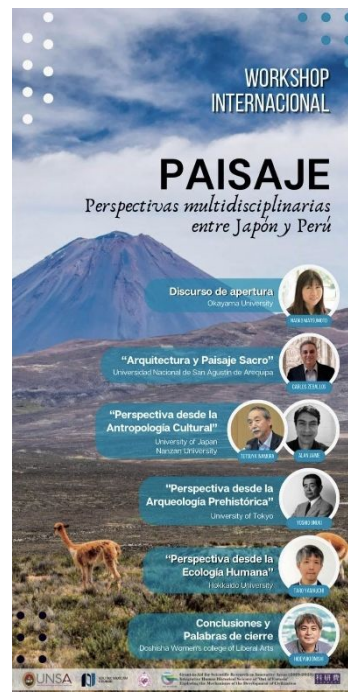
(6)他方「人類史的な時間軸での民族誌研究」では、同じく第3回全体会議において「第二部：国家・文明・階層社会の再考」というセッションを企画した。その結果、非/前近代社会を対象としてきた文化/社会人類学の成果から近代的な視点とは異なる国家や文明に対する視座を提示するとともに、『年報人類学研究』13号において「民族誌で文明を語る」という特集を企画し、B01班のメンバーが5編の論稿を寄稿した(雑誌論文)この他、同成果に関連する一般書・学術書を数多く出版し、「文明化を忌避する社会のメカニズムに関する理解」、「文明に影響を受け変容する周辺の記述」、「先史時代にまで長期的に時間軸を拡張させた追究」など本計画研究が議論してきた視角を提示し、本新学術領域が目的とする文明創生メカニズムの解明に努めた。こうした成果は、民族誌研究から人類史や文明形成などを追究する、近年の文化/社会人類学における一大潮流とも軌を一にする取り組みとなった(引用文献)

『年報人類学研究』第13号 2022年(1/2)



(7)本研究では、個々のメンバーの取り組みや領域全体などの企画に参与するなかで、アウトリーチ活動を少なからず行った。なかでも、最終年度2023年8月に「International Workshop in Arequipa, Peru: Various Perspectives for Landscape Studies」をペルーのサン・アウグスティン大学と共催し、領域全体のホットスポットである当該地域において、同じく領域のキーコンセプトである「景観」をテーマに掲げた国際的な成果発信を行った。同講演では、景観建築学を専門として多数の著書を刊行しているCarlos Renzo Zeballos Velardeが基調講演を行い、その後ペルー考古学を推進してきた大貫良夫をはじめ本計画班から3名が講演を行った。その結果、サン・アウグスティン大学の学生・教職員を中心に延べ200名以上もの聴講者を得ることができ、「出ユーラシア」の領域全体の成果を国際的に発信する貴重な機会になった。

(8)本研究では、調査研究の成果として、一般書・学術書を数多く刊行した。また終了後も、領域全体が目的とする「文明創生メカニズムの解明」に対する貢献を果たすべく、最初に提示した三つのテーマに基づく成果が刊行される予定となっている。さらには、イギリスのセインズベリー日本藝術研究所やルンド大学との国際交流によって、本領域の成果に基づく国際的なアウトリーチや研究プロジェクトなど将来につながる計画が策定され、終了後も更なる展開・発展の可能性が担保できた。



<引用文献>

- Robert, L. and P. Ucko (eds.), 1999, *The Archaeology and Anthropology of Landscape*. Routledge
- Bender, B. (ed.), 1993, *Landscape: Politics and Perspectives*. Berg.
- Scott, J. C. 2017, *Against the Grain: A Deep History of the Earliest States*. Yale University Press.
- Graeber, D. and D. Wengrow, 2020, *The Dawn of Everything: A New History of Humanity*. Allen Lane.

5. 主な発表論文等

[雑誌論文]

- Kimura, Y., Iwasaki, M., Ishimoto, Y. et al. Association between anorexia and poor chewing ability among community-dwelling older adults in Japan. *Geriatrics & Gerontology International* 19, 2019, 査読あり、pp.1290-1292.
- 大西秀之、「民族誌は文明を論じうるか」、『年報人類学研究』13、2022、査読あり、14-19 頁
- 大西秀之、「民族誌による文明理解の可能性：民族誌フィールドにおける時空間の拡張」、『年報人類学研究』13、2022、査読あり、20-36 頁
- 稲村哲也、「アンデス文明形成期における権力形成へのリャマのインパクト 考古学と民族誌の共同研究の可能性」、『年報人類学研究』13、2022、査読あり、70-88 頁
- 須田一弘、「階層化しない社会のしくみ パプアニューギニア・クボの場合」、『年報人類学研究』13、2022、査読あり、37-49 頁
- 清水展、「フィリピン社会の周縁ニッチで生きる先住民アエタの生存戦略 ピナトゥボ山大噴火の被災（1991）から創造的復興へ」、『年報人類学研究』13、2022、査読あり、50-69 頁
- 池谷和信、「社会複雑性の萌芽と形成 アマゾニアの民族誌から探る」、『年報人類学研究』13、2022、査読あり、89-100 頁

[図書]

- 河合洋尚・松本雄一・山本睦(編)、臨川書店、『景観で考える：人類学と考古学からのアプローチ』、2023、280 頁
- Ben A. Potter and Shunwa Honda (eds.), *Human Dispersals from North Asia via the Beringia into North America*. APUA New Series, Vol.7(1-2), 2023,
- 木村友美、「フィールド栄養学からみた食と健康 インド・ヒマラヤ高地の遊牧民と難民を事例として」、志水宏吉・河森正人・栗本英世・檜垣立哉・ゲルゲイ、モハーチ(編)、大阪大学出版会、『共生学宣言』、2020、97-120 頁

木村友美、「モンパ族の食事 ルブラン村に暮らす牧民の栄養調査から」、安藤和雄(編)、京都大学学術出版、『東ヒマラヤ 都市なき豊かさの文明』、2020、190-203 頁
梅崎昌裕、京都大学学術出版会、『パプアニューギニア高地人の適応システム』、2023、240 頁
須田一弘、京都大学学術出版会、『ニューギニアの森から 平等社会の生存戦略』、2021、268 頁

〔報告〕

木村友美、「活動報告」食と栄養ユニット、「2021 年度活動報告書」(出ユーラシア・プロジェクト第9集) 2022、pp.105-106
<https://out-of-eurasia.jp/images/2021report.pdf>

〔その他〕

ホームページ等

Human Dispersal from north Eurasia via Beringia into North America 2022/10/15-16
<https://www.youtube.com/watch?v=GZIEKJTNgI0>
<https://www.youtube.com/watch?v=L0abNXIZBOY>
<https://www.youtube.com/watch?v=fn4lQu7ETo8>
<https://www.youtube.com/watch?v=NTAzDxat22U>
https://www.youtube.com/watch?v=BbXM_lfzJXo
国際シンポジウム「ベーリンジア：ユーラシアからアメリカへの人類の拡散」2022/10/15-16
https://www.youtube.com/watch?v=-Bc_f_rAJss
<https://www.youtube.com/watch?v=zwsatagjYf0>
https://www.youtube.com/watch?v=jSa5_BDGMGw
<https://www.youtube.com/watch?v=guiTKWPlouc>
<https://www.youtube.com/watch?v=UIAU8i5N-54>

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計143件（うち査読付論文 79件 / うち国際共著 38件 / うちオープンアクセス 97件）

1. 著者名 大西秀之	4. 巻 書籍
2. 論文標題 「景観を」ではなく「景観で」考える：交差点としての景観研究の布置	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 景観で考える - 人類学と考古学からのアプローチ	6. 最初と最後の頁 28-45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大西秀之	4. 巻 9
2. 論文標題 講演2 北方研究の立場から：日本人類学にとっての北方研究	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 『じんるいけんBooklet 2023 『後藤明の研究の歩みと四人の巨人』	6. 最初と最後の頁 35-50
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Onishi, Hideyuki	4. 巻 Book
2. 論文標題 Aleutian Kayak under the Colonisation of the North Pacific Coast: Techniques of the Body concerned with Building and Steering Aleutian Kayak in the Russian Colonial Era	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Civilizations (Akira Goto and Naoko Matsumoto (eds.), RIDC, Okayama University)	6. 最初と最後の頁 52-62
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Nagai, Shin, Taku M. Saitoh; Ayumi Kotani, Tomoaki Miura, Hiromi Nakagawa, Chifuyu Katsumata, Hiroshi Morimoto, Hideyuki ?nishi	4. 巻 12
2. 論文標題 Perspective and review: how to develop our understanding of temporal changes in the relationship between people and the landscape under societal and climate change in Northeast Asia??	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Frontiers in Environmental Science	6. 最初と最後の頁 1-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fenvs.2024.1236664	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 稲村哲也	4. 巻 22
2. 論文標題 ヒマラヤにおけるウシ飼養の多様性と変容 ブータン極東部のウシ・ヤク・ミタン「三元交配」に着目して	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 家畜資源研究会報	6. 最初と最後の頁 3-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 稲村哲也、カナル・キソル、カルマチャリヤ・イシュワリ	4. 巻 18
2. 論文標題 ネパールの狩猟採集民「ラウテ」社会の変容 - 行政とNGOの関与を中心に	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 共生の文化研究	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 鶴見英成、稲村哲也、葉田善章、五藤素直	4. 巻 41
2. 論文標題 放送大学教員の共同研究による大学ミュージアム構想の検討と試行的展示公開	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 放送大学研究年報	6. 最初と最後の頁 119-135
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 石井祥子、奈良由美子、鈴木康弘、稲村哲也、スヘー・バートルガ、オトゴンツェツェグ・スフバートル、ジャンバジャブ・ナラマンダハ	4. 巻 41
2. 論文標題 モンゴルにおける防災啓発 防災カルタ、市民主導防災 および遠隔教育	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 放送大学研究年報	6. 最初と最後の頁 7-23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 木村友美、斎藤 優久乃、伊東 実穂、山道 萌子、Raffaello Riley VOLUNTAD、高松 真夕	4. 巻 10
2. 論文標題 「地域の食」を探索する 瀬戸内食のフィールドワークから	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 未来共創	6. 最初と最後の頁 311-335
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 寺村晃、木村友美	4. 巻 25(6)
2. 論文標題 通いの場における介護予防 住民主体の通所型サービスの事例から	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 地域ケアリング	6. 最初と最後の頁 82-85
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tatsuno M, Wada T, Kato E, Hirayama K, Fujisawa M, Kimura Y, Ishimoto Y, Hirotsuki M, Nose M, Yamada C, Kohori-Segawa H, Kasahara Y, Yamamoto N, Okumiya K, Matsubayashi K, Sakamoto R	4. 巻 23(5)
2. 論文標題 Association between glucose tolerance and mortality among Japanese community-dwelling older adults aged over 75?years: 12-year observation of the Tosa Longitudinal Aging Study	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Geriatr Gerontol Int.	6. 最初と最後の頁 341-347
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ggi.14572	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Y Ishimoto, Y Kimura, T Wada, K Hirayama, E Kato, Mai Tatsuno, Michiko Fujisawa, Yoriko Kasahara, Masahiro Nakatsuka, Mitsuhiro Nose, Masanori Iwasaki, Satoko Kakuta, Mayumi Hirotsuki, Kiyohito Okumiya, Kozo Matsubayashi, Ryota Sakamoto	4. 巻 24
2. 論文標題 Association of decreased frequency of conversation with depression, oral function and eating alone: A cross sectional study of older adults during the COVID 19 pandemic	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Geriatrics & Gerontology International	6. 最初と最後の頁 385-391
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ggi.14832	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sasiwongsaroj, K., Ono, M., Duangkaew, S. and Kimura, Y	4. 巻 24(2)
2. 論文標題 Emic and etic perspectives in transnational migration research: methodological reflections of a cross-national research team	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Qualitative Research Journal	6. 最初と最後の頁 194-204
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1108/QRJ-12-2023-0185	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kosaka S, Suda K, Gunawan B, Umezaki, M	4. 巻 89(6)
2. 論文標題 ?A Questionnaire Survey to Assess Motivations for Food Intake in Sundanese Communities in Indonesia, and an assessment of the applicability of the questionnaire	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Health and Human Ecology	6. 最初と最後の頁 171-183
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3861/kenko.89.6_171	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 池谷和信	4. 巻 47(3)
2. 論文標題 ピースからみた新たなアフリカ文化史	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 季刊民族学	6. 最初と最後の頁 4-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 後藤正憲	4. 巻 書籍
2. 論文標題 景観の物語を語る 住まうことの重層性	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 景観で考える - 人類学と考古学からのアプローチ	6. 最初と最後の頁 205-220
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清水郁郎	4. 巻 書籍
2. 論文標題 霊性との呼応から創出される景観 ラオス南部の水辺集落における浄化儀礼から考える	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 景観で考える - 人類学と考古学からのアプローチ	6. 最初と最後の頁 186-204
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mahdi Hussien, Ikuro SHIMIZU	4. 巻 4(1)
2. 論文標題 The Latent Power of Sustainable Tourism in Cultural Landscape Resilience in Taketomi Island, Okinawa Prefecture, Japan	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 SEATUC journal of science and engineering	6. 最初と最後の頁 76-83
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.34436/sjse.4.1_76	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sai A, Konishi T, Nishiyama H, Yamazaki M, Hao M, Yamauchi T, Yamauchi T	4. 巻 3(2)
2. 論文標題 The Physical and Mental Health Status of the Homeless in a Cold Region of Japan: Alcohol Intake, Diet and Psychosocial Distress	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 International Journal on Homelessness	6. 最初と最後の頁 139-155
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5206/ijoh.2022.2.14682	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yokoya S, Suzuki K, Sai A, Yamauchi T	4. 巻 17(4)
2. 論文標題 Exploring the Barriers and Coping Strategies Faced by Male Nursing Students in Japanese Nursing Education	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Asian Nursing Research	6. 最初と最後の頁 219-225
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.anr.2023.08.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Rifqi MA, Hamidah U, Sintawardani N, Harada H, Nyambe S, Sai A, Yamauchi T	4. 巻 21(11)
2. 論文標題 Effect of handwashing on the reduction of Escherichia coli on children's hands in urban slum Indonesia	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Journal of Water and Health	6. 最初と最後の頁 1651-1662
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2166/wh.2023.121	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Michinaka M, Sai A, Yamauchi T	4. 巻 18(10)
2. 論文標題 Impact of COVID-19 on the mental health of men experiencing homelessness: A cross-sectional study in Osaka, Japan	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 1-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0292377	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Nyambe S, Kataoka Y, Hanyika S, Yamauchi T	4. 巻 5
2. 論文標題 "I See You" ? Visualizing Water, Sanitation, and Hygiene with Children and Youth in Peri-Urban Lusaka, Zambia	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 TRAJECTORIA	6. 最初と最後の頁 1-23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sambo J, Nyambe S, Yamauchi T	4. 巻 14(1)
2. 論文標題 A qualitative study on Menstrual Health and Hygiene Management among adolescent schoolgirls in peri-urban Lusaka, Zambia	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Journal of Water, Sanitation and Hygiene for Development	6. 最初と最後の頁 15-26
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Vengiau G, Marks GC, Morita A, Pulford J, Wawaga E, Parapi I, Fasi B, Umezaki M.	4. 巻 39
2. 論文標題 Development and validation of the physical activity questionnaire (PNG-PAQ) that assess time spent on sedentary and moderate to vigorous physical activities: A case study in rural highland and peri-urban coastal communities in Papua New Guinea. People and Culture in Oceania.	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 People and Culture in Oceania.	6. 最初と最後の頁 In press
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Leyso NL, Umezaki M	4. 巻 16(4)
2. 論文標題 Uncovering spatial patterns and temporal trends in the ageing of the Tokyo Metropolis population.	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Journal of Population Ageing	6. 最初と最後の頁 939-958
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12062-023-09412-x	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kosaka S, Suda K, Gunawan B, Umezaki, M	4. 巻 89(6)
2. 論文標題 ?A Questionnaire Survey to Assess Motivations for Food Intake in Sundanese Communities in Indonesia, and an assessment of the applicability of the questionnaire	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Health and Human Ecology	6. 最初と最後の頁 171-183
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3861/kenko.89.6	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Mizuno Y, Inaba Y, Masuoka H, Kibe M, Kosaka S, Natsuhara K, Hirayama K, Inthavong, N, Kounnavong S, Tomita S, Umezaki M	4. 巻 868
2. 論文標題 Determinants of oxidative stress among indigenous populations in Northern Laos: trace element exposures and dietary patterns	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Science of the Total Environment	6. 最初と最後の頁 161516-161516
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.scitotenv.2023.161516	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sekiya S, Masuoka H, Mizuno Y, Kibe M, Kosaka S, Natsuhara K, Hirayama K, Inthavong N, Kounnavong S, Tomita S, Takayasu L, Suda W, Yagyu F, Umezaki M	4. 巻 110(4)
2. 論文標題 Asymptomatic enteric virus infections and association with the gut microbiome in rural residents of Northern Laos	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 American Journal of Tropical Medicine and Hygiene	6. 最初と最後の頁 759-767
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4269/ajtmh.23-0209	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Fajari MF, Gunawan B, and Umezaki M	4. 巻 in press
2. 論文標題 ?A mini-ethnography of stingless bee honey gathering in rural Sumedang, West Java: the practice and its contribution to economic and livelihood system in rural areas. ETNOSIA	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Jurnal Etnografi Indonesia	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kibe M, Mizuno Y, Masuoka H, Kosaka S, Natsuhara K, Hirayama K, Inthavong N, Kounnavong S, Tomita S, Umezaki M	4. 巻 36(1)
2. 論文標題 Transition to a market economy and chronic psychosocial stress in northern Laos: An exploratory study of urinary free cortisol in rural residents	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 American Journal of Human Biology	6. 最初と最後の頁 online
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/ajhb.23976	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Poosesod K, Umezaki M, Phetrak A and Phuanukoannon	4. 巻 181(3)
2. 論文標題 Impact of modernization on oxidative stress among indigenous populations in Northern Laos	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 American Journal of Biological Anthropology	6. 最初と最後の頁 352-363
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpubh.2023.1099831	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 池谷和信	4. 巻 13
2. 論文標題 社会複雑性の萌芽と形成 - アマゾンニアの民族誌から探る	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 年報人類学研究	6. 最初と最後の頁 89-100
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 稲村哲也	4. 巻 13
2. 論文標題 アンデス文明形成期における権力形成へのリヤマのインパクト 考古学と民族誌の共同研究の可能性	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 年報人類学研究	6. 最初と最後の頁 70-88
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 稲村哲也	4. 巻 37
2. 論文標題 ヒマラヤにおける交雑と移牧 ネパールとブータンのウシ属の牧畜	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 ビオストーリー	6. 最初と最後の頁 48-53
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Inamura, Tetsuya.	4. 巻 111
2. 論文標題 Las características del pastoreo altoandino en comparacion con los pastoreos asiaticos	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Senri Ethnological Studies	6. 最初と最後の頁 125-207
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 稲村哲也、鶴見英成、葉田善章、大山泰宏、佐藤仁美、大森聡一、安池智一、後藤素直	4. 巻 40
2. 論文標題 放送大学資料館（仮）設立の準備と共同研究	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 放送大学研究年報	6. 最初と最後の頁 93-104
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 石井祥子、奈良由美子、鈴木康弘、稲村哲也、スヘー・バトトルガ、ビャンバジャブ・ナラマンダハ	4. 巻 40
2. 論文標題 モンゴルにおける持続的な防災啓発活動 防災カルタ、市民主導の防災ワークショップ、映像コンテンツ	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 放送大学研究年報	6. 最初と最後の頁 19-33
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 大西秀之	4. 巻 65(2)
2. 論文標題 人類進化をめぐる社会科学のレゾンデートル：高橋・清成・三船・松本論文に対する一解題	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 心理学評論	6. 最初と最後の頁 150-155
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 大西秀之	4. 巻 13
2. 論文標題 民族誌は文明を論じうるか	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 年報人類学研究	6. 最初と最後の頁 14-19
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 大西秀之	4. 巻 13
2. 論文標題 民族誌による文明理解の可能性：民族誌フィールドにおける時空間の拡張	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 年報人類学研究	6. 最初と最後の頁 20-36
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 河合洋尚	4. 巻 書籍
2. 論文標題 中国・客家の伝統集合住宅 防災景観とそのレジリエンス	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 山下晋司・狩野朋子 (編) 『文化遺産と防災のレッスン』東京：新曜社	6. 最初と最後の頁 169-180
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 河合洋尚	4. 巻 48
2. 論文標題 なぜいま人類学が景観を論じるのか？ 景観人類学のマテリアル・ターンを再考する	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 社会人類学年報	6. 最初と最後の頁 21-47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kimura, Y., Sasaki, R	4. 巻 29(2)
2. 論文標題 Staple food shift in Papua, Indonesia: a discussion based on the study of diabetic patients and the cultural significance of sago palm	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 SAGO PALM	6. 最初と最後の頁 53-62
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 木村友美、石本恭子、クワンチット・サシウォンサロージ	4. 巻 48(5)
2. 論文標題 社会・文化的観点からの「フレイル」再考 感染症拡大下における生活変化に関する日タイ比較研究から	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Medical Science Digest	6. 最初と最後の頁 154-156
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 木村友美	4. 巻 書籍
2. 論文標題 主食の変化にみる『争い』：インドネシア・バプア州における糖尿病の事例から	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 『争う(シリーズ人間科学)』大阪大学出版会	6. 最初と最後の頁 419-434
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kimura Y, Akasaka H, Takahashi T, Yasumoto S, Kamide K, Ikebe K, Kabayama M, Kasuga A, Rakugi H, Gondo Y	4. 巻 19(10)
2. 論文標題 Factors Related to Preventive Behaviors against a Decline in Physical Fitness among Community-Dwelling Older Adults during the COVID-19 Pandemic: A Qualitative Study	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Int J Environ Res Public Health	6. 最初と最後の頁 6008
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph19106008	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Patiphol Yodsurang, Yasufumi Uekita & Ikuro Shimizu	4. 巻 5(2)
2. 論文標題 Water-Based Settlement and the Loss of Community Water Resilience	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Interiority	6. 最初と最後の頁 179-196
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Abe Takuya, Shimizu Ikuro	4. 巻 proceeding
2. 論文標題 The New Normal in Peripheral Societies in Southeast Asia, An Attempt to Extend the Range of Focus in Architecture	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Proceedings of the 13th International Symposium on Architectural Interchanges in Asia (ISAIA)	6. 最初と最後の頁 515-519
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 清水郁郎	4. 巻 proceeding
2. 論文標題 周縁社会のニューノーマル タイのフィールドにおけるフィールドワーク拡張の試み	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 2022年度日本建築学会大会 (北海道) 建築計画委員会オーガナイズドセッション 建築フィールドワークの拡張 ニューノーマルにおける居住文化の再構築を新たな方法で捉える2022年度大会学術講演梗概集 (北海道)	6. 最初と最後の頁 795-798
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shimizu Hiromu.	4. 巻 102
2. 論文標題 The Life and Works of Professor Chie NAKANE, 1926 2021: A Tribute to Japan's Pioneer of Social Anthropology	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 ORIENTAL CULTURE	6. 最初と最後の頁 155-185
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 清水展	4. 巻 103
2. 論文標題 横須賀ネイティブの自文化 = 自分化グラフィー : 文化人類学における他者表象をめぐる内省から	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 東洋文化	6. 最初と最後の頁 89-126
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 清水展	4. 巻 13
2. 論文標題 フィリピン社会の周縁ニッチで生きる先住先住民アエタの生存戦略：ピナトゥボ山大噴火の被災から創造的復興へ	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 年報人類学研究	6. 最初と最後の頁 50-69
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 清水展	4. 巻 23
2. 論文標題 中村哲医師の活動と文化相対主義をめぐって	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 文化人類学研究	6. 最初と最後の頁 91-98
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 清水展	4. 巻 書籍
2. 論文標題 危機を生き延びるールソン先住民アエタの柔軟対応力とトランスフォーマビリティ	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 稲村哲也・山極壽一・清水展・阿部健一 (編著) 『レジリエンス人類史』京都大学学術出版会	6. 最初と最後の頁 339-359
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清水展	4. 巻 書籍
2. 論文標題 干ばつと戦禍のアフガニスタンから国際政治を見る - 中村哲・「命の水」灌漑プロジェクトの希望	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 藤原帰一, 竹中千春, ナジア・フサイン, 華井和代 (編著) 『気候変動は社会を不安定化させるか 水資源をめぐる国際政治の力学』日本評論社	6. 最初と最後の頁 267-288
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 須田一弘	4. 巻 13
2. 論文標題 階層化しない社会のしくみ-パプアニューギニア・クボの場合-	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 年報人類学研究	6. 最初と最後の頁 37-49
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamauchi T, Hayashi K, Sai A	4. 巻 7(1)
2. 論文標題 Co-creation of Water, Sanitation, and Hygiene in Local Communities with NGOs during the COVID-19 Pandemic: From Hunter-gatherers to Urban Dwellers in Cameroon	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Sanitation	6. 最初と最後の頁 1-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.34416/sanitation.00003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Etoga SP, Hayashi K, Sai A, Yamauchi T	4. 巻 7(1)
2. 論文標題 Sensitization Campaign against COVID-19 and Household Attitudes Towards Sanitation Facilities (TamTam Mobile Reports)	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Sanitation	6. 最初と最後の頁 7-12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.34416/sanitation.00004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Zobome CG, Hayashi K, Sai A, Yamauchi T	4. 巻 7(1)
2. 論文標題 COVID-19 Countermeasures and Sanitation Co-creation through Women's Agricultural Activities (Mutcare Reports)	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Sanitation	6. 最初と最後の頁 22-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.34416/sanitation.00005	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Messe V, Nsonkali C, Hayashi K, Sai A, Yamauchi T.	4. 巻 7(1)
2. 論文標題 Eradication of Open Defecation in the Face of COVID-19 in Hunter-gatherer Societies: Challenges Faced and a Sense of Belonging among Baka Hunter-gatherers in Cameroon (Association Okani Reports)	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Sanitation,	6. 最初と最後の頁 29-35
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.34416/sanitation.00006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Okabe C, Sai A, Yamauchi T	4. 巻 24(3)
2. 論文標題 Impact of the COVID-19 pandemic on the physical and psychological health of female college students in Japan	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Nursing & Health Sciences	6. 最初と最後の頁 634-642
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/nhs.12962	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Konishi T, Yamauchi T	4. 巻 27(3)
2. 論文標題 「健やかな老い」を実現させるために：生理人類学への期待	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本生理人類学会誌	6. 最初と最後の頁 57
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Asada Y, Chua ML, Tsurumi M, Yamauchi T, Nyambe I, Harada H	4. 巻 20(7)
2. 論文標題 Detection of Escherichia coli, rotavirus, and Cryptosporidium spp. from drinking water, kitchenware, and flies in a periurban community of Lusaka, Zambia.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of Water and Health	6. 最初と最後の頁 1027-1037
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2166/wh.2022.276	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 佐藤寿実・佐井旭・山内太郎	4. 巻 書籍
2. 論文標題 適切な月経衛生対処 (MHM) に影響を及ぼす要因：経済、衛生、社会文化の観点から	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 中尾世治・原田英典（編著）『講座サニテーション学第2巻 社会・文化からみたサニテーション』北海道 大学出版会	6. 最初と最後の頁 213-217
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山内太郎	4. 巻 書籍
2. 論文標題 人に寄り添うサニテーションとは	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 清水貴夫・牛島健・池見真由・林 耕次（編著）『講座サニテーション学第5巻 サニテーションのしくみ と共創』北海道大学出版会	6. 最初と最後の頁 327-342
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 原田英典・Sikopo Nyambe・山内太郎	4. 巻 書籍
2. 論文標題 ザンビア 子どもと若者による水と衛生の参加型アクションリサーチ	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 清水貴夫・牛島健・池見真由・林 耕次（編著）『講座サニテーション学第5巻 サニテーションのしくみ と共創』	6. 最初と最後の頁 241-274
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山内太郎	4. 巻 書籍
2. 論文標題 狩猟採集民の子どもはどのようにして大人になるのか？育児協働と子どもの狩猟採集活動	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 河合香史（編）『関わる・認める』，京都大学学術出版会	6. 最初と最後の頁 63-93
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 ONISHI Hideyuki	4. 巻 63
2. 論文標題 DIVIDING KNOWLEDGE AND SKILLS IN HUMAN HISTORY: A PERSPECTIVE FROM AN ETHNOGRAPHIC STUDY ON THE FOLK SOCIETY	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 PSYCHOLOGIA	6. 最初と最後の頁 204-215
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2117/psychsoc.2021-B016	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 稲村哲也・近藤智嗣・鶴見英成・五藤素直・牧野由佳	4. 巻 39
2. 論文標題 大学博物館設立に向けて	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 放送大学研究年報	6. 最初と最後の頁 37-53
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 稲村哲也	4. 巻 37
2. 論文標題 ヒマラヤにおける交雑と移牧 ネパールとブータンのウシ属の牧畜	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 バイオストーリー	6. 最初と最後の頁 48-53
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Inamura, T.	4. 巻 111
2. 論文標題 Las características del pastoreo altoandino en comparacion con los pastoreos asiaticos	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 SENRI ETHNOLOGICAL STUDIES	6. 最初と最後の頁 125-207
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15021/00009946	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 河合洋尚	4. 巻 書籍
2. 論文標題 食の景観：グローバル社会のフード スケープ	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 食の世界に生きる：食の人 類学への招待	6. 最初と最後の頁 190-205
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 河合洋尚	4. 巻 書籍
2. 論文標題 中国・客家の伝統集合住宅：防災景 観とそのレジリエンス	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 文化遺産と防災のレッスン：レジリエントな観光のために	6. 最初と最後の頁 169-180
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ishida Akio, Isotani Akihiro, Fujisawa Michiko, del Saz Eva Garcia, Okumiya Kiyohito, Kimura Yumi, Manuaba Indrajaya Ida Bagus, Rantetampang Andreas Lallo, Ohya Yusuke, Matsubayashi Kozo	4. 巻 10
2. 論文標題 Effects of a Low Salt and High Potassium Diet on Arterial Stiffness and Left Ventricular Function in Indigenous Papuans	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of the American Heart Association	6. 最初と最後の頁 online
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1161/JAHA.121.021789	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Saengrut Bumnet, Yoda Takeshi, Kimura Yumi, Ishimoto Yasuko, Rattanasathien Rujee, Saito Tatsuya, Chunjai Kanlaya, Miyamoto Kensaku, Sirimuengmoon Kawin, Pudwan Rujirat, Katsuyama Hironobu	4. 巻 19
2. 論文標題 Can Muscle Mass Be Maintained with A Simple Resistance Intervention in the Older People? A Cluster Randomized Controlled Trial in Thailand	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	6. 最初と最後の頁 140-140
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph19010140	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kimura, Y., Sasaki, R.	4. 巻 29(2)
2. 論文標題 Staple food shift in Papua, Indonesia: a discussion based on the study of diabetic patients and the cultural significance of sago palm	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 SAGO PALM 29	6. 最初と最後の頁 53-62
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Teramura Akira, Kimura Yumi, Hamada Kosuke, Ishimoto Yasuko, Kawamori Masato	4. 巻 19
2. 論文標題 COVID-19-Related Lifestyle Changes among Community-Dwelling Older Adult Day-Care Users: A Qualitative Study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	6. 最初と最後の頁 256-256
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph19010256	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sasaki, L., Haapio-Kirk, L., Kimura, Y	4. 巻 21(2)
2. 論文標題 Sharing virtual meals among the elderly: An ethnographic and quantitative study of the role of smartphones in distanced social eating in rural Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Japanese Review of Cultural Anthropology	6. 最初と最後の頁 1-42
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14890/jrca.21.2_7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 清水 展	4. 巻 102
2. 論文標題 横須賀ネイティブの自文化 = 自分化グラフィー : 文化人類学における他者表象をめぐる内省から	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 東洋文化	6. 最初と最後の頁 89-126
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15083/0002003912	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 SHIMIZU, Hiromu	4. 巻 102
2. 論文標題 The Life and Works of Professor Chie NAKANE, 1926-2021 : A Tribute to Japan's Pioneer of Social Anthropology	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 東洋文化	6. 最初と最後の頁 155-185
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15083/0002003919	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ikeya Kazunobu	4. 巻 4(3)
2. 論文標題 Ethnoarchaeology of Introducing Agriculture and Social Continuity among Sedentarised Hunter-Gatherers: The Transition from the Jomon to the Yayoi Period	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Quaternary	6. 最初と最後の頁 online
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/quat4030028	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 清水郁郎	4. 巻 proceeding
2. 論文標題 人間と集団の可能態. 魅力ある住宅地と伴走する人々-コロナ禍で見えた集住の価値-	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 2021年度日本建築学会大会(東海)建築計画部門研究懇談会資料	6. 最初と最後の頁 8-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清水郁郎	4. 巻 proceeding
2. 論文標題 なぜスラムは改善されないのか?タイ、バンコクのクロントーイを事例に考える. 都市インフォーマリティから導く実践計画理論	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 2021年度日本建築学会大会(東海)[若手奨励]特別研究部門パネルディスカッション資料	6. 最初と最後の頁 118-119
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Abe Takuya, Shimizu Ikuro	4. 巻 4
2. 論文標題 Mutual relationship between taboo of faith and house space: A case study of "licit architecture" in 70 Rai, Khlong Toei, slum improvement project area, Bangkok, Thailand	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 JAPAN ARCHITECTURAL REVIEW	6. 最初と最後の頁 565-574
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/2475-8876.12242	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 清水郁郎	4. 巻 proceeding
2. 論文標題 霊的景観 ラオス深南部の水辺集落で 生きられる霊的世界.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 信仰と環境 - 日常の住環境に みられる霊的な場 - (日本民俗建築学会2021年度公開シンポジウム資料集)	6. 最初と最後の頁 7-12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mitsunaga Arimi, Yamauchi Taro	4. 巻 61
2. 論文標題 Assessing Diet and Nutritional Intake of Rural Children in Zambia Using a Food Frequency Questionnaire	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Ecology of Food and Nutrition	6. 最初と最後の頁 484-502
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/03670244.2022.2028626	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 KONISHI TATSUKI, YAMAUCHI TARO	4. 巻 130
2. 論文標題 The impact of oral contact and alloparenting on infant diarrhea in a hunter-gatherer society in Cameroon	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Anthropological Science	6. 最初と最後の頁 161-169
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1537/ase.210926	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Zeng, Y., He, J., Hao, M., Han, W. & Yamauchi, T.	4. 巻 28(2)
2. 論文標題 Correlating caretakers' knowledge, attitudes and practices of hygiene and continued breastfeeding with infants' gross motor development delay	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Hong Kong Journal of Paediatrics	6. 最初と最後の頁 99-108
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Mariko Isshiki, Izumi Naka, Ryosuke Kimura, Nao Nishida, Takuro Furusawa, Kazumi Natsuhara, Taro Yamauchi, Minato Nakazawa, Takafumi Ishida, Tsukasa Inaoka, Yasuhiro Matsumura, Ryutaro Ohtsuka & Jun Ohashi	4. 巻 21
2. 論文標題 Admixture with indigenous people helps local adaptation: admixture-enabled selection in Polynesians	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 BMC Ecology and Evolution	6. 最初と最後の頁 179
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12862-021-01900-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sato, K., Widyarani, Hamidah U., Ikemi, M., Ushijima, K., Sintawardani, N. & Yamauchi, T.	4. 巻 5(2)
2. 論文標題 Menstruation and menstrual hygiene management: A case study of adult females in an urban slum of Indonesia	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Sanitation Value Chain	6. 最初と最後の頁 83-97
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.34416/svc.00071	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Agestika, L., Sintawardani, N., Hamidah, U., Nyambe, S. & Yamauchi, T.	4. 巻 12(1)
2. 論文標題 Pattern of child faeces management and disposable diaper usage among under-fives in an urban slum of Bandung, Indonesia	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Water, Sanitation and Hygiene for Development	6. 最初と最後の頁 30-40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2166/washdev.2021.099	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Konishi, T., Sonoda, K., Hayashi, K., Peng, Y. & Yamauchi, T.	4. 巻 6(1)
2. 論文標題 Sanitation facilities, water quality, and child health in a hunter-gatherer, semi-sedentary village in Cameroon	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Sanitation Value Chain	6. 最初と最後の頁 23-38
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.34416/svc.00064	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 須田一弘	4. 巻 書籍
2. 論文標題 野生を飼い慣らすことの難しさ：インドネシア西ジャワ州におけるコピルアク生産の事例から	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 野生性と人類の論理：ポストドメスティケーションを捉える4つの思考	6. 最初と最後の頁 33-44
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 木村友美	4. 巻 書籍
2. 論文標題 主食の変化にみる『争い』：インドネシア・パプア州における糖尿病の事例から	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 争う (シリーズ人間科学)	6. 最初と最後の頁 95-117
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 モハーチ・ゲルガイ・木村友美	4. 巻 書籍
2. 論文標題 プラネタリーヘルスと食の変革：人と地球の健康から「バックループ」の実験へ	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 レジリエンス人類史	6. 最初と最後の頁 419-434
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sai, A. & Yamauchi, T.	4. 巻 Book
2. 論文標題 Dirty work masculinity and coping strategies among garbage Collectors	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Rhetoric of Masculinity Male Body Image, Media, and Gender Role Stress/Conflict	6. 最初と最後の頁 99-118
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tabata S., Otsuka N., Goto M., Takahashi M.	4. 巻 27
2. 論文標題 Economy, society and governance in the Arctic: Overview of ArCS research project in the field of humanities and social sciences (2015-2020)	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Polar Science	6. 最初と最後の頁 online
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.polar.2020.100600	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Honda, S	4. 巻 104
2. 論文標題 Whales and Whaling in Greenland: Historical and Contemporary Studies, World Whaling: Historical and Contemporary Studies. Senri Ethnological Studies	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Senri Ethnological Studies	6. 最初と最後の頁 115-134
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15021/00009658	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 後藤正憲	4. 巻 14
2. 論文標題 適応のかたち サハの在来家畜と環境	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 北方人文研究	6. 最初と最後の頁 85-102
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Inamura, T	4. 巻 Proceeding
2. 論文標題 Pastoralism of camelids and the emergence of political power in the northern Peruvian Andes: A discussion featuring archeology from the viewpoint of ethnography	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Proceedings of an International Conference in Mexico, February 27-28, 2020 Landscape, Monuments, Arts, and Rituals: Out of Eurasia in Bio-Cultural Perspectives	6. 最初と最後の頁 142-158
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 稲村哲也・アラン・ハイメ・市木尚利・木村友美	4. 巻 38
2. 論文標題 グアテマラ高地キチェ・マヤ社会のコフラディアとサン・シモン信仰：スニル村の事例	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 放送大学研究年報	6. 最初と最後の頁 61-76
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Onishi, Hideyuki	4. 巻 Book
2. 論文標題 “Tribe” or “Chieftdom”? : Lost Possibilities of Ainu Society and Influences from Outside Worlds	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Proceedings of an International Conference in Mexico, February 27-28, 2020 Landscape, Monuments, Arts, and Rituals: Out of Eurasia in Bio-Cultural Perspectives	6. 最初と最後の頁 81-94
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Onishi, Hideyuki	4. 巻 106
2. 論文標題 Historical Dynamics of Ainu Society: The Social Structure of Hokkaido Ainu in Historic Documents in the Premodern Period	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Senri Ethnological Studies	6. 最初と最後の頁 197-216
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 佐藤靖明・池谷和信	4. 巻 34
2. 論文標題 人類とバナナ	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ピオストーリー	6. 最初と最後の頁 6-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 池谷和信	4. 巻 45(1)
2. 論文標題 人類と生き物からみた現代文明	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 季刊民族学	6. 最初と最後の頁 4-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Miki Takahiro, Nishigami Tomohiko, Takebayashi Tsuneo, Yamauchi Taro	4. 巻 26
2. 論文標題 Association between central sensitivity syndrome and psychological factors in people with presurgical low back pain: A cross-sectional study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Orthopaedic Science	6. 最初と最後の頁 337-342
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jos.2020.03.017	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Annan Reginald Adjetey, Sowah Solomon Adjetey, Apprey Charles, Agyapong Nana Ama Frimpomaa, Okonogi Satoru, Yamauchi Taro, Sakurai Takeshi	4. 巻 6
2. 論文標題 Relationship between breakfast consumption, BMI status and physical fitness of Ghanaian school-aged children	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 BMC Nutrition	6. 最初と最後の頁 online
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40795-020-00344-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Isshiki Mariko, Naka Izumi, Watanabe Yusuke, Nishida Nao, Kimura Ryosuke, Furusawa Takuro, Natsuhara Kazumi, Yamauchi Taro, Nakazawa Minato, Ishida Takafumi, Eddie Ricky, Ohtsuka Ryutarō, Ohashi Jun	4. 巻 10
2. 論文標題 Admixture and natural selection shaped genomes of an Austronesian-speaking population in the Solomon Islands	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 online
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-62866-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nyambe Sikopo, Agestika Lina, Yamauchi Taro	4. 巻 15
2. 論文標題 The improved and the unimproved: Factors influencing sanitation and diarrhoea in a peri-urban settlement of Lusaka, Zambia	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 online
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0232763	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sai, A., Al Furqan, R., Ushijima, K., Hamidah, U., Ikemi, M., Widyanani, Sintawardani, N	4. 巻 4(2)
2. 論文標題 Personal Hygiene, Dignity, and Economic Diversity among Garbage Workers in an Urban Slum of Indonesia	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Sanitation Value Chain	6. 最初と最後の頁 51-66
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.34416/svc.00019	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sambo, J., Muchindu, M., Nyambe, S., & Yamauchi, T.	4. 巻 4(2)
2. 論文標題 Sustainable Solid Waste Management: An Assessment of Solid Waste Treatment in Lusaka, Zambia	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Sanitation Value Chain	6. 最初と最後の頁 39-50
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.34416/svc.00022	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Mitsunaga Arimi, Yamauchi Taro	4. 巻 39
2. 論文標題 Evaluation of the nutritional status of rural children living in Zambia	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Physiological Anthropology	6. 最初と最後の頁 online
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40101-020-00244-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Dinala, H., Sambo, J., Nyambe, S., & Yamauchi, T.	4. 巻 4(3)
2. 論文標題 A Comparative Report on Health and Water, Sanitation and Hygiene in Malawi, Tanzania and Zambia	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Sanitation Value Chain	6. 最初と最後の頁 37-60
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.34416/svc.00025	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hao, M., He, J., Zeng, Y., Han, W., Sai, A., & Yamauchi, T.	4. 巻 6(2)
2. 論文標題 A comprehensive assessment of hand washing: Knowledge, attitude and practices (KAP) and hand-washing behaviors among primary school students in Northeast China	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Sanitation Value Chain	6. 最初と最後の頁 online
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.34416/svc.00026	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Nyambe Sikopo, Yamauchi Taro	4. 巻 29
2. 論文標題 Peri-urban water, sanitation and hygiene in Lusaka, Zambia: photovoice empowering local assessment via ecological theory	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Global Health Promotion	6. 最初と最後の頁 66-76
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/1757975921995713	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 稲村哲也	4. 巻 91(2)
2. 論文標題 アンデス高原のリヤマ・アルパカ牧畜からのドメスティケーション試論.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 科学	6. 最初と最後の頁 208-213
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本紀夫	4. 巻 91(2)
2. 論文標題 毒を制したモンゴロイド	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 科学	6. 最初と最後の頁 200-204
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大西秀之	4. 巻 91(2)
2. 論文標題 身体を飼いならす:民族誌フィールドからの「自己家畜化」再考	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 科学	6. 最初と最後の頁 191-192
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 本多俊和・高橋美野梨	4. 巻 書籍
2. 論文標題 現代グリーンランドにおける捕鯨と儀礼	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 捕鯨と反捕鯨のあいだに:世界の現場と政治・倫理的問題	6. 最初と最後の頁 101-122
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shimizu, H	4. 巻 Book
2. 論文標題 Dynamic Resilience of Ayta Community: Creative Rehabilitation After Mt. Pinatubo 's Eruption, 1991	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Resilience and Human History: Multidisciplinary Approaches and Challenges for a Sustainable Future	6. 最初と最後の頁 147-156
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Soichi Hata & Ikuo Shimizu	4. 巻 Book
2. 論文標題 Long-house as a Village	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Green, Green and Tropical: Woodified Architecture in Southeast Asia (English Edition)	6. 最初と最後の頁 49-61
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 須田一弘	4. 巻 書籍
2. 論文標題 フウチョウに倣って着飾るダンサー パプアニューギニアクボの事例から	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 絶滅危惧種を喰らう	6. 最初と最後の頁 113-116
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本紀夫	4. 巻 書籍
2. 論文標題 「二番煎じは、くそくらえ、だ」梅棹忠夫	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 自前の思想	6. 最初と最後の頁 255-296
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本紀夫	4. 巻 書籍
2. 論文標題 ジャガイモ－アンデスから世界へ	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 ものがつなく世界史	6. 最初と最後の頁 179-197
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Iwasaki Masanori, Kimura Yumi, Ogawa Hiroshi, Yamaga Takayuki, Ansai Toshihiro, Wada Taizo, Sakamoto Ryota, Ishimoto Yasuko, Fujisawa Michiko, Okumiya Kiyohito, Miyazaki Hideo, Matsubayashi Kozo	4. 巻 54
2. 論文標題 Periodontitis, periodontal inflammation, and mild cognitive impairment: A 5 year cohort study	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Periodontal Research	6. 最初と最後の頁 233 ~ 240
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jre.12623	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kimura Yumi, Iwasaki Masanori, Ishimoto Yasuko, Sasiwongaroj Kwanchit, Sakamoto Ryota, Wada Taizo, Fujisawa Michiko, Okumiya Kiyohito, Miyazaki Hideo, Matsubayashi Kozo	4. 巻 19
2. 論文標題 Association between anorexia and poor chewing ability among community dwelling older adults in Japan	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Geriatrics & Gerontology International	6. 最初と最後の頁 1290 ~ 1292
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ggi.13792	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 木村 友美、野瀬 光弘、松林 公蔵	4. 巻 7
2. 論文標題 超高齢社会における孤食と共食	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 未来共創	6. 最初と最後の頁 99-117
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.50829/miraikyoso.7.0_99	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Senoo Soichiro, Iwasaki Masanori, Kimura Yumi, Kakuta Satoko, Masaki Chihiro, Wada Taizo, Sakamoto Ryota, Ishimoto Yasuko, Fujisawa Michiko, Okumiya Kiyohito, Ansai Toshihiro, Matsubayashi Kozo, Hosokawa Ryuji	4. 巻 47
2. 論文標題 Combined effect of poor appetite and low masticatory function on sarcopenia in community dwelling Japanese adults aged >- 75 years: A 3 year cohort study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Oral Rehabilitation	6. 最初と最後の頁 643-650
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/joor.12949	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 黒澤弥悦、池谷和信	4. 巻 31
2. 論文標題 変わりつつあるイノシシと人の関係	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ピオストーリー	6. 最初と最後の頁 8-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清水展	4. 巻 100
2. 論文標題 外部思考 = 感覚器官としての異文化・フィールドワーク：ピナトゥボ・アエタとの40年の関わりで目撃した変化と持続、そして私の覚醒	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 東洋文化	6. 最初と最後の頁 41-76
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15083/00079036	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 清水展	4. 巻 24(6)
2. 論文標題 フィールドワークから応答し協働する知の実践へ：文化人類学の新しい動き	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 学術の動向	6. 最初と最後の頁 84-85
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5363/tits.24.6_84	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shunwa Honda	4. 巻 104
2. 論文標題 Whales and Whaling in Greenland : Historical and Contemporary Studies	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Senri Ethnological Studies	6. 最初と最後の頁 113-132
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15021/00009658	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yasuhisa Kondo, Akihiro Miyata, Ui Ikeuchi, Satoe Nakahara, Ken'ichiro Nakashima, Hideyuki, Onishi, Takeshi Osawa, Kazuhiko Ota, Kenichi Sato, Ken Ushijima, Bianca Vienni Baptista, Terukazu Kumazawa, Kazuhiro Hayashi, Yasuhiro Murayama, Noboru Okuda, Hisae Nakanishi	4. 巻 39
2. 論文標題 Interlinking open science and community-based participatory research for socio-environmental issues	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Current Opinion in Environmental Sustainability	6. 最初と最後の頁 54-61
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cosust.2019.07.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 大西秀之	4. 巻 25
2. 論文標題 共有資源としてのアイヌ文化史跡：北海道標津町における地域住民の語りを事例として	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 生態人類学会ニュースレター	6. 最初と最後の頁 32-38
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 池谷和信	4. 巻 書籍
2. 論文標題 犬を使用する狩猟法 (犬獵) の人類史	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 大石高典・近藤祉秋・池田光穂編『犬からみた人類史』勉誠出版	6. 最初と最後の頁 46-67
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 木村友美	4. 巻 書籍
2. 論文標題 フィールド栄養学からみた食と健康 インド・ヒマラヤ高地の遊牧民と難民を事例として	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 志水 宏吉, 河森 正人, 栗本 英世, 檜垣 立哉, モハーチ・ゲルゲイ編『共生学宣言』大阪大学出版会	6. 最初と最後の頁 97-120
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 木村友美	4. 巻 書籍
2. 論文標題 モンパ族の食事 ルプラン村に暮らす牧民の栄養調査から	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 安藤 和雄編『東ヒマラヤ 都市なき豊かさの文明』京都大学学術出版会	6. 最初と最後の頁 190-203
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川本芳, タシ・ドルジ, 稲村哲也	4. 巻 書籍
2. 論文標題 ミタンの利用と高所世界 ブータンの交雑家畜の遺伝学研究から	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 安藤 和雄編『東ヒマラヤ 都市なき豊かさの文明』京都大学学術出版会	6. 最初と最後の頁 391-419
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 稲村哲也, 川本芳	4. 巻 書籍
2. 論文標題 ブータン極東部の牧民社会とその変化	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 安藤 和雄編『東ヒマラヤ 都市なき豊かさの文明』京都大学学術出版会	6. 最初と最後の頁 43-77
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 稲村哲也	4. 巻 書籍
2. 論文標題 乳の利用から見る東ヒマラヤの文化	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 安藤 和雄編『東ヒマラヤ 都市なき豊かさの文明』京都大学学術出版会	6. 最初と最後の頁 121-132
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Keiichi Omura	4. 巻 Book
2. 論文標題 Conditions for Well-Being Sustainably of an Inuit Subsistence System in a Globalized World	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Leslie Main Johnson(ed.) Wisdom Engaged: Traditional Knowledge for Northern Community Well-Being. University of Alberta Press	6. 最初と最後の頁 175-200
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大村敬一	4. 巻 書籍
2. 論文標題 極限のオントロジー イヌイトの生業システムと近代のシステムにみる人類の社会性の進化史的基盤	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 河合香史編『極限：人類社会の進化』京都大学学術出版会	6. 最初と最後の頁 77-102
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計140件（うち招待講演 16件/うち国際学会 48件）

1. 発表者名 大西秀之
2. 発表標題 アイヌ民族への知の返還
3. 学会等名 日本文化人類学会第57回研究大会, 県立広島大学 (広島市)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Onishi, Hideyuki
2. 発表標題 Living Heritage in Japan and Asia
3. 学会等名 International Workshop Living Heritage of Asia-Oceania, Sultan Qaboos University (Muscat, Oman) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 大西秀之
2. 発表標題 サイエンスを強くする人文学：人類史と超学際を事例として
3. 学会等名 令和5年度地球研プロジェクト今昔ダイアログ (招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 大西秀之
2. 発表標題 イオルをめぐる「環境知識」と学史に留意しながらの意見
3. 学会等名 国立台湾史前文化博物館特別企画・海外巡回展《台湾先住民の文化と環境知識》開催記念 先住民の環境知識～未来に向けた再構築・活性化の多様な試み～ (招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 大西秀之
2. 発表標題 対談1：「武器」概念の境界と身体
3. 学会等名 出ユーラシアの統合的人類史学第10回全体会議：セッション5「攻撃と文明」、岡山大学
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 大西秀之
2. 発表標題 認知変容のトリガーとしての物質・技術・制度
3. 学会等名 出ユーラシアの統合的人類史学第10回全体会議：セッション4「モノとココロの人類史」,
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 大西秀之
2. 発表標題 死の確定：技術と制度のイデオロギー
3. 学会等名 歴博共同研究「死者への行為が形成する認識と社会変容」
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 大西秀之
2. 発表標題 アートからクラフトまで：アイヌ民具資料の収集をめぐる選択
3. 学会等名 国立民族学博物館共同研究「国立民族学博物館の資料収集活動に関する研究：創設後50年のレビュー」第3回研究会 国立民族学博物館
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 山内太郎
2. 発表標題 狩猟採集民の子どもの活動：半定住集落と森
3. 学会等名 日本アフリカ学会第60回学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 山内太郎
2. 発表標題 出ユーラシア集団におけるWASH-Food-Body Nexusの統合
3. 学会等名 科学研究費助成事業新学術領域研究「出ユーラシアの統合的人類史学：文明創出メカニズムの解明」（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 山内太郎
2. 発表標題 Future Earth（地球の未来）を共創する
3. 学会等名 WHOオフィサーと語る~地球の未来とSDGs~（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Yamauchi T
2. 発表標題 Water, Sanitation and Hygiene (WASH) Co-design: Building resilient WASH solutions through transformative transdisciplinary collaborations
3. 学会等名 11th Zambia Water Forum & Exhibition（国際学会）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Nyambe S, Yamauchi T
2. 発表標題 The Dziko Langa Training and Activity Manual: Leveraging positive community identity, civic participation, and self-worth for sustainable WASH
3. 学会等名 11th Zambia Water Forum & Exhibition（国際学会）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Sambo J, Nyambe S, Yamauchi T
2. 発表標題 Adopting a holistic approach for Menstrual Health and Hygiene: Possible opportunities and challenges for WASH interventions in peri-urban Lusaka, Zambia
3. 学会等名 11th Zambia Water Forum & Exhibition (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Zgambo J, Nyambe S, Yamauchi T
2. 発表標題 Understanding our community through the eyes of children - a focus on peri-urban water, sanitation hygiene
3. 学会等名 11th Zambia Water Forum & Exhibition (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Yamauchi T
2. 発表標題 Food Security and Nutrition: Nutritional status, dietary intake and physical activity of rural villagers in contrasting ecological zones in Southern Zambia
3. 学会等名 Hokkaido University-University of Melbourne International Workshop "Indigenous Health: Exploring Perspectives, Well-being, and Community-based Approaches" (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Sai A, Yamauchi T
2. 発表標題 Indigeneity: Hygiene attitude and a sense of belonging among hunter-gatherers in Cameroon
3. 学会等名 Hokkaido University-University of Melbourne International Workshop "Indigenous Health: Exploring Perspectives, Well-being, and Community-based Approaches" (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Nyambe S, Yamauchi T
2. 発表標題 Community-based WASH (water, sanitation and hygiene): Using participatory action research to explore 'different ways of knowing
3. 学会等名 Hokkaido University-University of Melbourne International Workshop "Indigenous Health: Exploring Perspectives, Well-being, and Community-based Approaches" (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Yamauchi T
2. 発表標題 Co-creation with local communities: An overview of Sanitation and Health in Indonesia, Japan and Zambia
3. 学会等名 Sustainability Research and Innovation Congress 2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Nyambe S, Yamauchi T
2. 発表標題 Water, Sanitation and Hygiene (WASH) Participatory Action Research with Children & Youth in peri-urban Lusaka, Zambia
3. 学会等名 Sustainability Research and Innovation Congress 2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Yamauchi T
2. 発表標題 Socio-economics, environment and health of the three populations of "Out of Eurasia" from the anthropometric perspective
3. 学会等名 International Workshop in Arequipa, Peru : Various Perspectives for Landscape Studies (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Yamauchi T
2. 発表標題 Division of Labor and Physical Activity Levels among Caregivers in the Context of Childcare in the Baka Society: An Anthropometric and Observational Study
3. 学会等名 16th International Congress of Physiological Anthropology (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Yamauchi T
2. 発表標題 Co-creation of Community-based Water, Sanitation and Hygiene (WASH) with Local Stakeholders
3. 学会等名 The 6th FHS International Conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Mitsunaga A, Yamauchi T
2. 発表標題 Menstrual Hygiene Management among Adolescent Girls in Lilongwe District, Malawi
3. 学会等名 The 6th FHS International Conference (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Rifqi MA, Hamidah U, Sintawardani N, Sai A, Yamauchi T
2. 発表標題 Water, sanitation and hygiene facilities and child diarrhea in urban-slum Indonesia during the COVID-19 Pandemic
3. 学会等名 The 6th FHS International Conference (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Sambo J, Nyambe S, Yamauchi T
2. 発表標題 Menstrual Hygiene Management Mapping: A Baseline Study of the Impact of an Interventional Study on Menstruating Schoolgirls in Kafue Peri-urban Schools of Lusaka, Zambia
3. 学会等名 The 6th FHS International Conference (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Zgambo J, Nyambe S, Yamauchi T
2. 発表標題 Water-Environment-Health Nexus : Assessing the Interplay of Water, Sanitation, and Hygiene with Environmental Factors and Health Risks in Peri-urban Zambia
3. 学会等名 The 6th FHS International Conference (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Sunazawa F, Nilawati D, Sintawardani N, Sai A, Yamauchi T
2. 発表標題 Menstrual knowledge and attitude of schoolgirls in urban-slum Indonesia
3. 学会等名 The 6th FHS International Conference (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Sai A, Yamauchi T
2. 発表標題 Future approach to exploring garbage workers' mental health and quality of life during the pandemic
3. 学会等名 KAKENHI " Grant-in-Aid for Early-Career Scientists " : Research Meeting on Urban Sanitation and Mental and Social Well-being In Bandung, Indonesia (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 山内太郎
2. 発表標題 人間の行動をハカル：時空間利用から栄養適応へ
3. 学会等名 大型野生動物学と人類学のGPS・生体情報計測研究の最先端と今後の課題
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Yamauchi T
2. 発表標題 Community-based WASH Research: A Global Sanitation Project Revisit
3. 学会等名 The 7th International Symposium on Green Technology for Value Chains (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Sai A, Sintawardani N, Yamauchi T
2. 発表標題 Mental Health Challenges: Faced by Urban-slum Sanitation Workers in Indonesia
3. 学会等名 The 7th International Symposium on Green Technology for Value Chains (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Ushijima K, Yamauchi T
2. 発表標題 "Does the community-based water supply system have cost merit?: Case in Hokkaido, Japan
3. 学会等名 The 7th International Symposium on Green Technology for Value Chains (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Rifqi MA, Hamidah U, Sintawardani N, Sai A, Yamauchi T
2. 発表標題 Hand hygiene and child diarrhea in urban slum Indonesia during the COVID-19 Pandemic
3. 学会等名 The 7th International Symposium on Green Technology for Value Chains (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 山内太郎
2. 発表標題 ステークホルダーとの協働 –超学際研究とサニテーションの共創–
3. 学会等名 第3回 Future Earth 日本サミット2023 人新世における平和と生命(いのち) (招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Rifqi MA, Hamidah U, Sintawardani N, Sai A, Yamauchi T
2. 発表標題 Assessing malnutrition in urban slum children: The influence of water, sanitation and hygiene (WASH) and dietary intake during the COVID-19 pandemic
3. 学会等名 International Society for Sanitation Studies Annual Conference 2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Uz Zaman MD, Nyambe S, Sai A, Yamauchi T
2. 発表標題 Exploring menstrual hygiene management and socio- demographic factors affecting menstrual product usage among nursing and midwifery students in Bangladesh
3. 学会等名 International Society for Sanitation Studies Annual Conference 2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Zgambo J, Meki C, Nyambe S, Yamauchi T
2. 発表標題 Assessment of Water, Sanitation, and Hygiene in Peri-urban Kafue, Zambia
3. 学会等名 International Society for Sanitation Studies Annual Conference 2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Sambo J, Nyambe S, Yamauchi T
2. 発表標題 Water, sanitation and hygiene assessment for menstrual health and hygiene in peri-urban schools of Kafue district in Lusaka, Zambia
3. 学会等名 International Society for Sanitation Studies Annual Conference 2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Sunazawa F, Nilawati D, Hamidah U, Sai A, Sintawardani N, Yamauchi T
2. 発表標題 Menstrual characteristics and obesity among adolescent girls of Bandung, Indonesia
3. 学会等名 International Society for Sanitation Studies Annual Conference 2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 佐井旭、山内太郎
2. 発表標題 マレーシアの都市部に居住する若年男性のボディイメージと社会文化的要因
3. 学会等名 第88回日本健康学会総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 砂澤楓華、佐井旭、山内太郎
2. 発表標題 インドネシアの都市スラムに居住する女子学生の初経及び月経に関する知識、態度、経験について
3. 学会等名 第88回日本健康学会総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 山内太郎
2. 発表標題 排泄人類学とグローバルサニテーション
3. 学会等名 第2回 排泄の自然誌を編む研究会 公開シンポジウム 出すことと出たものへのまなざし（招待講演）
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 池谷和信
2. 発表標題 Mobility among Nomadic Peoples in Monsoon Asia- A Comparison of Forest Hunters and Pig Herders
3. 学会等名 The 19th IUAES-WAU World Anthropology Congress 2023, University of Delhi, India (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 池谷和信
2. 発表標題 ペルー北東部におけるベッカリーの皮商人とその流通
3. 学会等名 出ユーラシアの統合的人類史学第9回全体会議
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 Inamura, T
2. 発表標題 Comments and discussion” Session 2 “Royalty and hierarchical cognition of animals”
3. 学会等名 International Conference 2023, The Creation of Royalty in “Out of Eurasia” civilizations: Exploring the mechanism of the Emergence of Transcendent Power, Meiji University, Tokyo (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 稲村哲也
2. 発表標題 コメント
3. 学会等名 山形大学公開シンポジウム『古代アンデスとリャマ』
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 稲村哲也
2. 発表標題 遊動の民: ツァータンとラウテ
3. 学会等名 国立民族学博物館 (池谷研究会) 「アジアの狩猟採集民の移動と生業 多様な環境適応の人類史」
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 稲村哲也
2. 発表標題 アンデス・ラクダ科家畜をめぐるドメスティケーション・ランドスケープ・文明形成
3. 学会等名 出ユーラシア最終全体会議・セッション2 『ドメスティケーションと共進化』岡山大学
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 河合洋尚
2. 発表標題 守られゆく景観　ホノルルの客家会館はなぜ『生きる文化遺産』であり続けているのか？
3. 学会等名 生きる文化遺産研究会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 清水郁郎
2. 発表標題 文化を自らの手で書き直す　北タイ農村における民家調査をめぐる
3. 学会等名 第27回『「生きる文化遺産」研究会』
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 Yumi Kimura, Hiroshi Akasaka, Toshihito Takahashi, Saori Yasumoto
2. 発表標題 Preventive behaviors against a decline in physical fitness during the COVID-19 pandemic: A qualitative study of community-dwelling older adults in Japan
3. 学会等名 International Conference on Frailty and Sarcopenia Research 2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Yumi Kimura
2. 発表標題 Diet and oral health among older adults: with a focus on food diversity and eating alone
3. 学会等名 Gerodontology 2 Symposium, IAGG Asia/Oceania Regional Congress 2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 木村友美
2. 発表標題 食を通じた介護予防の可能性 農村地域における共食の実践から
3. 学会等名 シンポジウム『長寿時代の食とコミュニティ』第18回日本応用老年学会大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 木村友美
2. 発表標題 高齢期のフレイルと食行動との関連 日タイ比較研究から
3. 学会等名 シンポジウム26『タイにおける高齢者の健康維持と課題：最新の研究成果と将来展望』グローバルヘルス合同大会2023・第日本国際保健医療学会学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Rumi Okazaki, Ikuro Shimizu, Tadesse Girmay, Fasil Giorghis, Eisuke Shoji, Kentaro Nishiyama, Kei Misumi, Taiga Takehara
2. 発表標題 Tracing the Original Urbanscape of Addis Ababa: Case of Armenian Sefer
3. 学会等名 第32回日本ナイル・エチオピア学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Patiphol Yodsurang, Pranom Tansukanan, Wittaya Duangthima, Phisith Sihalarth, Sithixay Insisiengmay, Yasufumi Uekita, Marie Nakamura, Ikuro Shimizu
2. 発表標題 Pau-Pop: tradition management system of the Mekong riverfront communities
3. 学会等名 ICOMOS GA2023 SCIENTIFIC SYMPOSIUM (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Mahdi Hussen・Shimizu Ikuro
2. 発表標題 The Tourism in Taketomi Island, Okinawa Prefecture: An Itinerant Essential Component of the Cultural Landscape
3. 学会等名 日本建築学会、2023年度大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Darunaithorn Tharin・Shimizu Ikuro
2. 発表標題 Relationship between Requirement and Spatial Organization, and Revitalization Process for Shophouses Case study: Tokyo and Bangkok Shophouses
3. 学会等名 日本建築学会、2023年度大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 周煜航・SHIMIZU Ikuro
2. 発表標題 The outline of investigation and renovation of traditional living environment of Li Nationality in southern China, Take Bai-cha village as study target
3. 学会等名 日本建築学会、2023年度大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 清水郁郎・上北恭史
2. 発表標題 東南アジア水辺集落の居住文化・景観の再生とリパース・イノベーションによる発信 その8 メコン川流域島嶼社会における儀礼から探る景観の様態
3. 学会等名 日本建築学会、2023年度大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 阿部拓也・庄司栄介・清水郁郎・山田協太
2. 発表標題 タイのチュムチョンにおける家族と親戚の関係性
3. 学会等名 日本建築学会、2023年度大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 三角桂・清水郁郎・岡崎瑠美・山根祐介・浦山真
2. 発表標題 アイヌの建築文化に関する研究 その3 現代に生きるアイヌ民族の環境構築論
3. 学会等名 日本建築学会、2023年度大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 藤村雪野・清水郁郎
2. 発表標題 人と猫の共生空間におけるコミュニティ形成の研究
3. 学会等名 日本建築学会、2023年度大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 岡崎瑠美・清水郁郎・庄司栄介・西山健太郎・三角桂
2. 発表標題 エチオピア歴史地区における基礎研究 その13 アジスアベバ・アルメニア地区における建築遺産の保存と活用
3. 学会等名 日本建築学会、2023年度大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 浦山真・山根佑介・三角桂・岡崎瑠美・清水郁郎
2. 発表標題 アイヌの建築文化に関する研究 その1 上川郡鷹栖町・嵐山公園内におけるチセの建設
3. 学会等名 日本建築学会、2023年度大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 山根佑介・浦山真・三角桂・岡崎瑠美・清水郁郎
2. 発表標題 アイヌの建築文化に関する研究 その2 上川郡上川町・旧北の森ガーデン内におけるチセの建設と運営
3. 学会等名 日本建築学会、2023年度大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 稲村哲也
2. 発表標題 アンデスの牧畜社会における環境の利用と多層的空間認識
3. 学会等名 景観人類学研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 稲村哲也
2. 発表標題 人類史的視点からのレジリエンス
3. 学会等名 南京大学（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 稲村哲也
2. 発表標題 人類史・民族誌からの「レジリエンス」
3. 学会等名 中部人類学談話会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Inamura, Tetsuya
2. 発表標題 Las características del pastoreo altoandino en comparación con el pastoreo asiático
3. 学会等名 Museo Nacional de Antropología, San Salvador（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 稲村哲也
2. 発表標題 「レジリエンス史観」から考えるアンデス先住民社会
3. 学会等名 東海大学 講座 シリーズ：国家・自然・人間 第2回「東海大学（招待講演）」
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 稲村哲也
2. 発表標題 野外展示にまつわるエピソード
3. 学会等名 リトルワールド 大人のための文化人類学講座「野外民族博物館リトルワールド」
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 稲村哲也
2. 発表標題 博物館活動における現地の人々との協同：野外展示を中心に
3. 学会等名 シンポジウム「リトルワールドの40年」、野外民族博物館リトルワールド
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Onishi, Hideyuki
2. 発表標題 Aleutian Kayak under the Colonisation of the North Pacific Coast. Integrative Human Historical Science of "Out of Eurasia" Hawaii Conference 2023 Trekking Shores, Crossing Water Gaps, and Beyond: Maritime Aspects in the Dynamics of "Out of Eurasia"
3. 学会等名 Civilizations. Hawai'i Imin International Conference Center at Jefferson Hall
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Onishi, Hideyuki
2. 発表標題 Ainu Historical Heritage as Common Property during Multi-Ethnicity in Local Community
3. 学会等名 WAC (World Archaeological Congress) 9. City Conference Center (Prague, Czech Republic) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Onishi, Hideyuki
2. 発表標題 Whose Property Rights of Ethnographic Records? : Ainu Studies of IZUMI Seiichi as the Case Study
3. 学会等名 CHAGS (Conference on Hunting and Gathering Societies) 13. University College Dublin, (Dublin, Ireland) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 大西秀之
2. 発表標題 『景観を』ではなく『景観で』考える意義：景観論との対話を通して
3. 学会等名 『景観を』ではなく『景観で』考える意義：景観論との対話を通して
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 河合洋尚
2. 発表標題 ハワイの「客家性」とパーチャリティ ホノルル崇正会を中心として
3. 学会等名 華僑華人学会2022年度研究大会，神奈川大学
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 河合洋尚
2. 発表標題 趣旨説明
3. 学会等名 第一回景観考古学 / 人類学研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 河合洋尚
2. 発表標題 なぜいま人類学が景観を論じるのか
3. 学会等名 第一回景観考古学 / 人類学研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Nakamura, Marie
2. 発表標題 To whom does the pottery belong? A case study of relics from the Ban Chiang Archaeological Site that were taken out of Thailand in the 1970s
3. 学会等名 14th International Conference on Thai Studies (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Pranom Tansukanun, Wittaya Duangthima and Ikuro Shimizu
2. 発表標題 Stronger together: The cultural landscape sustainability through the social bonds of the Mae Chaem Muang Fai system
3. 学会等名 14th International Conference on Thai Studies (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Patiphol Yodsuran, Yasufumi Uekita and Ikuro Shimizu
2. 発表標題 The Changing of Flood and Flow: River flow changing and the loss of resilient-ability in Ayutthaya, Thailand
3. 学会等名 14th International Conference on Thai Studies (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Ikuro Shimizu, Yasufumi Uekita and Phisith Sihalarth
2. 発表標題 Rethinking the Cultural Landscape after the Changes in Livelihoods. Case in Waterfront Villages in Luang Prabang and Pakse, Lao PDR
3. 学会等名 14th International Conference on Thai Studies (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Marie Nakamura, Ikuro Shimizu, Sitthixai Insiengmay
2. 発表標題 An anthropological study of the Phi Pop purification rites and cultural landscape of a waterfront village in Southern Laos
3. 学会等名 14th International Conference on Thai Studies (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 山内太郎
2. 発表標題 WASH (水・トイレ・衛生) と文明
3. 学会等名 新学術研究出ユーラシアの統合的人類史学の構築第8回全体会議
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Yamauchi T
2. 発表標題 How do hunter-gatherer children become adults in the forest? Children's hunting and gathering activities
3. 学会等名 The 15th International Congress of Physiological Anthropology (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Yamauchi T, Hayashi K, Sai A
2. 発表標題 Awareness and dissemination of water, sanitation and hygiene (WASH) during the COVID-19 pandemic: co-creation with local people and NGOs
3. 学会等名 Sanitation and Hygiene in Cameroon, Yaounde?
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Yamauchi T, Nyambe S, Sai A
2. 発表標題 Co-creation of a Community-based Water, Sanitation and Hygiene model with children and youth (CO-CO WASH)
3. 学会等名 AJ-CORE (Africa-Japan Collaborative Research) Kick-off Meeting (Japan side)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Yamauchi T
2. 発表標題 Building resilient WASH solutions through transformative community collaborations
3. 学会等名 10th Zambia Water Forum Exhibition (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Yamauchi T
2. 発表標題 Childcare in hunter-gatherer societies: The meaning of alloparenting in which children are raised in groups
3. 学会等名 Conference of Hunting and Gathering Societies 13 (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Yamauchi T.
2. 発表標題 How hunter-gatherer children become adults in the forest? Children's hunting and gathering activities
3. 学会等名 Conference of Hunting and Gathering Societies 13 (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Yamauchi T
2. 発表標題 Co-creating future sanitation with local communities
3. 学会等名 Sustainable Research and Innovation Congress (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 庄司栄介・清水郁郎・山田協太・阿部拓也
2. 発表標題 東南アジアメガシティにおけるスラムの現代的様態に関する研究 その2 現代のアジールの居場所としてのスラム試論
3. 学会等名 日本建築学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 高野成農・山中怜典・清水郁郎
2. 発表標題 カリブ海地域におけるクレオール建築論試論 -キューバ共和国におけるイベントを例にして-
3. 学会等名 日本建築学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 眞田壱星・清水郁郎
2. 発表標題 カリブ海地域におけるクレオール建築論試論 -キューバ共和国におけるイベントを例にして-
3. 学会等名 日本建築学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 魏嵩・清水郁郎
2. 発表標題 中国の文化的景観の変化とその保全 上海市嘉定区における南翔古鎮を事例として
3. 学会等名 日本建築学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 佐藤由衣・清水郁郎
2. 発表標題 アイヌの文化的景観の可能性に関する研究 その1 儀礼空間及び精神性を踏まえて
3. 学会等名 日本建築学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 三角桂・清水郁郎
2. 発表標題 アイヌの文化的景観の可能性に関する研究 その2 居住文化と生業の変容を踏まえて
3. 学会等名 日本建築学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Hussen Ali Mahdi・Ikuro Shimizu
2. 発表標題 The relationship between sustainable tourism and the cultural landscape in Sakishima Islands, Okinawa Prefecture
3. 学会等名 日本建築学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 大塚和義、大西秀之
2. 発表標題 オロチョンのChenからア イヌのIworへ：泉靖一による北方民族調査の学説史的意義
3. 学会等名 日本シベリア学会第7回研究大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大西秀之
2. 発表標題 民族誌研究から考える考古学の研 究法
3. 学会等名 近江貝塚研第330回例会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 河合洋尚
2. 発表標題 景観で人類学する：回顧と展望
3. 学会等名 東京都立大学社会人類学研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 清水郁郎、上北恭史
2. 発表標題 東南アジア水辺集落の 居住文化・景観の再生とリバース・イノベーション による発信 その7 北タイ、メーチェムの文化的 景観の持続性における社会集団の関わり
3. 学会等名 2021年度 日本建築学会大会（東海）学術講演会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 木庭袋樹、清水郁郎、上北恭史
2. 発表標題 東南アジア 水辺集落の居住文化・景観の再生とリパース・イノベーションによる発信 その8 ラオス南部コーン島H 村の伝統家屋の空間構成
3. 学会等名 2021年度日本建築学会大会（東海）学術講演会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 赤荻翔基、清水郁郎、上北恭史
2. 発表標題 東南アジア水 辺集落の居住文化・景観の再生とリパース・イノベーションによる発信 その9 ラオス南部シーバンドンにおける文化的景観の現状とその利用可能性
3. 学会等名 2021年 度日本建築学会大会（東海）学術講演会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 眞田苞星、清水郁郎、岡崎瑠美、青島啓太
2. 発表標題 在 留エチオピア人の異文化適応に関する研究 その1 生活財の調査による文化的行為の再現性の考察
3. 学会等名 2021年 度日本建築学会大会（東海）学術講演会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 庄司栄介、清水郁郎、山田協太、阿部拓也
2. 発表標題 東 南アジアメガシティにおけるスラムの現代的様態に 関する研究 その1 最貧困層による商店経営の実態
3. 学会等名 2021年度日本建築学会大会（東海）学術講演会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山中怜典、清水郁郎
2. 発表標題 カリブ海地域におけるクレオール建築論試論 キューバ共和国におけるクレオール建築を事例として
3. 学会等名 2021年度日本建築学会大会(東海)学術講演会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山内太郎
2. 発表標題 世界の子どもたちと未来のサニテーションをデザインする
3. 学会等名 未来洗浄研究会第6回セミナー
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 山内太郎
2. 発表標題 子どもの身体に異変が起きている：世界の子どもの体格・体力
3. 学会等名 ひと・健康・未来研究財団第50回未来研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 山内太郎
2. 発表標題 子ども 地域 研究者が共創する 未来のサニテーション
3. 学会等名 第82回地球研市民セミナー
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 山内太郎
2. 発表標題 子どもたちと一緒に創る地域のサニ テーション
3. 学会等名 公開講座「環境×健康×SDGs」
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Yamauchi, T.
2. 発表標題 Co-creating future sanitation systems with local actors: communi-ty-based transdisciplinary research
3. 学会等名 The 5th International Symposium on Green Technology for Value Chains
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山内太郎
2. 発表標題 超学際研究の可視化
3. 学会等名 第31回北海道 大学URAアドバンスセミナー、 第10回JINSHA情報共有会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Goto, M.
2. 発表標題 Land improvement in the critical zone: From the case of Sakha (Yakutia)
3. 学会等名 International Congress of Arctic Social Sciences (ICASS X)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Goto, M.
2. 発表標題 Topography of adaptation: Sakha native domestic animals and politics of the environment
3. 学会等名 International Congress of Arctic Social Sciences (ICASS X)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 木村友美
2. 発表標題 シンポジウム2：アジア地域における比較研究にむけた食事調査の課題
3. 学会等名 第69回日本口腔衛生学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 木村友美他
2. 発表標題 地域在住高齢者の高次ADL低下とフレイルとの関連
3. 学会等名 第62回日本老年医学会学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 木村友美, 佐々木理世
2. 発表標題 インドネシアパプア州バデにおける主食の変化と生活習慣病
3. 学会等名 第29回サゴヤシ学会講演会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 清水郁郎・上北恭史
2. 発表標題 東南アジア水辺集落の居住文化・景観の再生とリバース・イノベーションによる発信 その3 アユタヤにおける文化的景観の保存と再生に向けた保存対象の提案
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演梗概集（関東）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 赤荻翔基・清水郁郎・上北恭史
2. 発表標題 東南アジア水辺集落の居住文化・景観の再生とリバース・イノベーションによる発信 その4 ラオス南部シーバンドンにおける文化的景観の現状とその利用可能性
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演梗概集（関東）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 中川海人・清水郁郎・上北恭史
2. 発表標題 東南アジア水辺集落の居住文化・景観の再生とリバース・イノベーションによる発信 その5 チェンマイにおける水辺集落の文化的景観の変化とその利用可能性
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演梗概集（関東）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 太田陸央・清水郁郎・上北恭史
2. 発表標題 東南アジア水辺集落の居住文化・景観の再生とリバース・イノベーションによる発信 その6 タイ・アユタヤの水辺集落における文化的景観の利用可能性
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演梗概集（関東）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 阿部拓也・山田協太・清水郁郎
2. 発表標題 持続性とレジリエンス概念によるスラムパラダイムの変革とクリアランス方法の開発 その1家屋の違法増築および火災からの家屋再建の類似性
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演梗概集（関東）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 山中怜典・清水郁郎
2. 発表標題 建築におけるブリコラージュ実践に関する研究 その1 キューバ共和国におけるイベントによる住居空間の構成
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演梗概集（関東）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 木庭袋樹・清水郁郎
2. 発表標題 タイ、チェンマイ市街における分解空間の様態に関する研究 - アンダー・コミュニケーション空間としての屋台空間の分析 -
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演梗概集（関東）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 佃麻美
2. 発表標題 アンデス牧畜社会の市場経済化と妬みの語り
3. 学会等名 第54回日本文化人類学会研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 大西秀之
2. 発表標題 「アイヌ文化」を問われた地域住民のナラティブ：北海道東部標津町における聞き取り調査を通して
3. 学会等名 第54回日本文化人類学会研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 池谷和信
2. 発表標題 世界のハンターと動物
3. 学会等名 ヒトと動物の関係学会・関西シンポジウム「狩猟採集の現代」
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 佐藤靖明, 池谷和信
2. 発表標題 バナナの文化誌を構想する - 栽培から現代まで
3. 学会等名 生き物文化誌学会第77回例会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 河合洋尚
2. 発表標題 景観人類学 田野科学如何分析景観問題与景観設計？
3. 学会等名 北京大学建築与設計学院招待講演（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 河合洋尚
2. 発表標題 景観人類学の新趨向 現状与展望
3. 学会等名 アモイ大学人類学部招待講演（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 河合洋尚, 陳昭
2. 発表標題 景観人類学在日本的發展与展望
3. 学会等名 国際ワークショップ「中日人類学学术交流研討会」（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 北浦由樹, 清水郁郎, 上北恭史, Thong-ek Kladpan, 吉田英志
2. 発表標題 東南アジア水辺集落の居住文化・景観の再生とリバース・イノベーションによる発信 その1 中部タイ アユタヤ県K村を事例とした伝統的家屋の様態
3. 学会等名 日本建築学会学術講演梗概集（北陸）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 木村友美, 坂本龍太, 和田泰三, 藤澤道子, 奥宮清人, 石本恭子, 加藤恵美子, 竜野真維, 岩崎正則, 松林公蔵
2. 発表標題 農村地域における高齢者の食行動と健康度との関連
3. 学会等名 第61回日本老年医学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Thong-ek Kladpan, Ikuro Shimizu, Yasufumi Uekita, Hideshi Yoshida, Yuki Kitaura
2. 発表標題 Regeneration of Dwelling Culture and Cultural Landscape of the Waterfront Village in Southeast Asia and Dissemination of the Method through Reverse Innovation, Part 2 An Initial Research of a Waterfront Village in Central Thailand
3. 学会等名 日本建築学会学術講演梗概集 (北陸)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Keiichi Omura
2. 発表標題 A Comparative Study of Inuit Qaujimagatuqangit (IQ: Inuit Knowledge) and Modern Science: An Ethnographic Analysis of the Dissemination Processes of Knowledge and Technology
3. 学会等名 Canada-Japan Future Collaboration Workshop on Arctic Environment based at CHARS (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Keiichi Omura
2. 発表標題 A Collaborative Project for Inuit Qaujimagatuqangit Data-base System
3. 学会等名 Canada-Japan Future Collaboration Workshop on Arctic Environment based at CHARS (国際学会)
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計24件

1. 著者名 梅崎昌裕	4. 発行年 2023年
2. 出版社 京都大学出版会	5. 総ページ数 240
3. 書名 『微生物との共生：パプアニューギニア高地人の適応システム』	

1. 著者名 河合洋尚	4. 発行年 2023年
2. 出版社 広州：華南理工大学出版社。	5. 総ページ数 374
3. 書名 『景観人類学 身体・表象・物質性』	

1. 著者名 河合洋尚・松本雄一・山本睦編	4. 発行年 2023年
2. 出版社 臨川書店	5. 総ページ数 280
3. 書名 『景観で考える ?人類学と考古学からのアプローチ』	

1. 著者名 河合洋尚	4. 発行年 2024年
2. 出版社 風響社	5. 総ページ数 90
3. 書名 『南太平洋の中国人社会 客家・本地人・新移民』	

1. 著者名 清水展	4. 発行年 2024年
2. 出版社 京都大学学術出版会	5. 総ページ数 304
3. 書名 『アエタ 灰のなかの未来：大噴火と創造的復興の写真民族誌』	

1. 著者名 池谷和信	4. 発行年 2023年
2. 出版社 千里文化財団	5. 総ページ数 48
3. 書名 図説 焼畑の民 - 五木村と世界をつなぐ	

1. 著者名 Ikeya K. and Bal?e W. (eds.)	4. 発行年 2023年
2. 出版社 Springer Nature Singapore Pte Ltd	5. 総ページ数 328
3. 書名 Global Ecology in Historical Perspective: Monsoon Asia and Beyond	

1. 著者名 稲村哲也・山極壽一・清水展・阿部健一（編）	4. 発行年 2022年
2. 出版社 京都大学学術出版会.	5. 総ページ数 526
3. 書名 レジリエンス人類史	

1. 著者名 山内太郎・原田英典・中尾世治(編著)	4. 発行年 2022年
2. 出版社 北海道大学出版会	5. 総ページ数 198
3. 書名 講座サニテーション学第1巻 総論 サニテーション学の構築	

1. 著者名 原田英典・山内太郎(編)	4. 発行年 2022年
2. 出版社 北海道大学出版会	5. 総ページ数 230
3. 書名 講座サニテーション学第4巻サニテーションと健康	

1. 著者名 稲村 哲也、山極 壽一、清水 展、阿部 健一	4. 発行年 2022年
2. 出版社 京都大学学術出版会	5. 総ページ数 526
3. 書名 レジリエンス人類史	

1. 著者名 須田 一弘	4. 発行年 2021年
2. 出版社 京都大学学術出版会	5. 総ページ数 268
3. 書名 ニューギニアの森から	

1. 著者名 後藤明、大西秀之	4. 発行年 2022年
2. 出版社 雄山閣	5. 総ページ数 392
3. 書名 モノ・コト・コトバの人類史 総合人類学の探究	

1. 著者名 山本 紀夫	4. 発行年 2021年
2. 出版社 中央公論新社	5. 総ページ数 336
3. 書名 高地文明 「もう一つの四大文明」の発見	

1. 著者名 Yamauchi, T., Nakao, S. & Harada, H.	4. 発行年 2022年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 276
3. 書名 The Sanitation Triangle: Socio-Culture, Health and Materials (Global Environmental Studies)	

1. 著者名 河合洋尚	4. 発行年 2020年
2. 出版社 風響社	5. 総ページ数 98
3. 書名 景観人類学	

1. 著者名 清水展	4. 発行年 2021年
2. 出版社 九州大学出版会	5. 総ページ数 394
3. 書名 噴火のこだま：ピナトゥポ・アエタの被災と新生をめぐる文化・開発・NGO	

1. 著者名 清水 展、飯嶋 秀治	4. 発行年 2020年
2. 出版社 京都大学学術出版会	5. 総ページ数 454
3. 書名 自前の思想	

1. 著者名 清水展、小國和子	4. 発行年 2021年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 272
3. 書名 職場・学校で活かす現場グラフィー	

1. 著者名 Nara, Y.& Inamura, T.	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 231
3. 書名 Resilience and Human History: Multidisciplinary Approaches and Challenges for a Sustainable Future	

1. 著者名 近藤康久、大西秀之	4. 発行年 2021年
2. 出版社 かがわ出版	5. 総ページ数 230
3. 書名 環境問題を解く	

1. 著者名 大村敬一, 湖中真哉	4. 発行年 2020年
2. 出版社 NHK出版	5. 総ページ数 296
3. 書名 「人新世」時代の文化人類学	

1. 著者名 清水展	4. 発行年 2019年
2. 出版社 九州大学出版会	5. 総ページ数 392
3. 書名 出来事の民族誌 [新装版] フィリピン・ネグリート社会の変化と持続	

1. 著者名 Hiromu Shimizu	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Trans Pacific Press	5. 総ページ数 400
3. 書名 Grassroots Globalization: Reforestation and Cultural Revitalization in the Philippine Cordilleras	

〔産業財産権〕

〔その他〕

Welcome Address, Introductory Remarks https://www.youtube.com/watch?v=GZIEKJTNg10 1st Session: Viewpoint from the Americas, Part1 https://www.youtube.com/watch?v=L0abNXIZBOY 1st Session: Viewpoint from the Americas, Part2 https://www.youtube.com/watch?v=fn41Qu7ETo8 2nd Session: Viewpoint from the Far East https://www.youtube.com/watch?v=NTAzDxat22U Roundtable Discussion https://www.youtube.com/watch?v=BbXM_lfzJXo

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	稲村 哲也 (Inamura Tetsuya) (00203208)	放送大学・教養学部・客員教授 (32508)	中南米先住民社会の生業及びドメスティケーション
研究分担者	清水 展 (Shimizu Hiromu) (70126085)	関西大学・政策創造学部・客員教授 (34416)	フィリピン・オセアニアにおける生業と自然災害への人類の対処
研究分担者	木村 友美 (Kimura Yumi) (00637077)	大阪大学・大学院人間科学研究科・講師 (14401)	南米及びニューギニア・オセアニアにおける資源開発と栄養状態
研究分担者	須田 一弘 (Suda Kazuhiro) (00222068)	北海学園大学・人文学部・教授 (30107)	東南アジア及びオセアニアにおける生態環境に対する人類の適応
研究分担者	河合 洋尚 (Kawai Hironao) (30626312)	東京都立大学・人文科学研究科・准教授 (22604)	東アジア及びオセアニアにおける景観に対する認知と行動
研究分担者	山内 太郎 (Yamauchi Taro) (70345049)	北海道大学・保健科学研究院・教授 (10101)	出ユーラシア地域の自然生態環境への人類集団の進出・適応に対する栄養学的・人類生態学的評価
研究分担者	梅崎 昌裕 (Umezaki Masahiro) (30292725)	東京大学・大学院医学系研究科(医学部)・教授 (12601)	出ユーラシア地域における人類集団のニッチ構築に関する理論的検討

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	池谷 和信 (Ikeya Kazunobu)		中南米における生態環境に対する人類の適応
研究協力者	清水 郁郎 (Shimizu Ikuro)		東南アジアにおける建築空間と景観
研究協力者	後藤 正憲 (Goto Masanori)		極北域における景観に対する認知と行動
研究協力者	山本 紀夫 (Yamoto Norio)		中南米及びオセアニアのドメスティケーション
研究協力者	スチュアート ヘンリ (Stewart Henry)		新大陸への人類集団の移住

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計3件

国際研究集会 Human Dispersal from north Eurasia via Beringia into North America	開催年 2022年～2022年
国際研究集会 Early Civilizations from the Viewpoints of the Northeast Eurasian Prehistory: A New Perspective	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 International Workshop in Arequipa, Peru: Various Perspectives for Landscape Studies	開催年 2023年～2023年

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------

米国	University of Alaska Fairbanks	Oregon State University	Texas A&M University	他2機関
デンマーク	University of Copenhagen			
ロシア連邦	INSTITUTE OF ARCHAEOLOGY AND ETHNOGRAPHY	THE RUSSIAN ACADEMY OF SCIENCES		